

エコツアーリズムで 私が、地域が、みんなが 変わる！

ゆつくりと見回してみよう。

見えなかった色がみえてくる。

気がつかなかった香りに気づく。

聞こえなかった歌がきこえてくる。

季節が移っていく。

あざやかに、大地がここにある。

森がどこまでもひろがっている。

どこまでも空が、海がひろがっている。

風がそと通りすぎる。

水が落ちて、土を潤す。

生きものたちが息づく

人間のふるさととは、ここにある。

自然はやさしい。温かい。

大きくて、物知りだ。

時に荒々しい。

時にはひどく荒々しい。

人のくらし、歴史や文化は、

そうした自然とともに育ってきた。

大自然から里山や都市の小さな自然まで、

自然のいのちと人のいのちを共振させる。

そういう旅をしよう。

ゆつたりと呼吸し、

ゆつくりと見直し、

おおらかな一歩をしるしたい。



平成22年10月

自然の美しさ・奥深さに気づき
自然を愛する心が芽ばえる

地元で自信と誇りを持ち
生き生きとした地域になる

エコツーリズム で変わろうよ

原生的な自然、里地や里山の自然、そこで繰り広げられてきた人々の生活と自然の関わり、地域に伝わる生活文化などの地域資源と深くふれあう旅のかたちです。専門のガイドと一緒に森を歩きながら、鳥の声を聞いたり、花の香りをかいだり、小さな昆虫を観察したり、炭焼き跡をのぞいたりします。田んぼのあぜ道や人々が暮らす町なかツアーコースとなることもあります。地域の自慢をじっくり楽しめます。

私には、知的で楽しい旅



旅行者

森の中で、ガイドが朽ち落ちた杉の枝を拾い上げそれを鋭利なナイフで切り裂きました。切り口からは、みずみずしい香りがします。森の生命力を感じます。落ちていた動物のフンを小枝でつつくと木の実の殻がでてきました。今年はブナの実が豊作だったのでこの森の動物たちも安心して冬を迎えられそうです。鳥の暮らしぶり、花の生きざま、森の中では動物も植物も子孫を残すための戦略を駆使していること。ガイドの専門知識にもとづいた丁寧な解説は私の知的探求心を強くしました。自然界の奥深さを堪能し、とても思い出深い旅となりました。

ガイドは、感じる心を拓きたい



ガイド

森の静けさ、騒々しさ、みずみずしさ、香しさ、さらに神秘さまでも実感してもらいたい。ツアー参加者の体の奥深くに眠っていた感覚を呼び覚ますために、あの手この手と様々な解説テクニックも使います。自然や地球の暮らしを調べていくと、びっくりするような事実が見つかりました。このことを自然の中で伝えたいのです。私は地域資源の奥深い魅力を探求し、これを題材にしてツアー参加者を楽ませるガイドという仕事が大好きです。子どもたちがあこがれる仕事にしたいですね。



地域では、経済効果に貢献



住民

この旅は、ガイドという新たな観光ビジネスを作ります。宿泊客の増加や観光消費額の増大も期待でき、地域経済の振興に貢献します。この旅のおもしろさの源泉である自然環境や人々の暮らしは、時間帯や季節によっても顔色が変わり、どのような時期でもおもしろいツアーを企画できるので、観光振興の課題であった来訪者の季節変動の緩和にも貢献するでしょう。

地域の住民は、ふる里を誇りに思う



住民

自然環境と深く関わってきた人々の暮らしの中にも、地域固有の魅力があふれています。里山と生活との関わり、食文化や工芸品、それらを作る人のワザも大切な地域資源です。解説のネタ探しは、地域の自慢探しでもあります。地域の自慢を知った旅行者の感嘆の声や驚きの様子は、ここに暮らす私たち住民に誇りと生きる自信をもたらしました。



ECOTOURISM

「私が変わる」



ECOTOURISM

「地域が変わる」



私たちの自然や文化をまもり 未来への遺産として引き継いでいく

今、未来のためにできること

地域資源の研究、研究成果を活かした解説、観光消費の地域経済への貢献、地域資源の保全、人の意識と行動の変化、これらは地域社会という土台の上で深く関わり合っています。地域資源の利用と保護がうまくバランスしながら地域振興を果たします。そして、旅に参加した人、旅をつくる人、旅を受け入れる人、それぞれが地球環境に対する優しい意識をもつようになる、このような活動をエコツーリズムと呼びます。

地域資源の保護

地域資源は、ツアー参加者の意識や行動を変えるものでもあり、地域経済の源泉でもあります。資源の破壊や枯渇は、人の心を痛めるだけでなく、ひいては地域経済の停滞も引き起こします。地域資源を活用しながら保護していくこと、これが最も大切なことなのです。地域資源の状態には常に気を配り、モニタリングします。必要に応じて、利用の方法を変えたり、資源再生の手だてをうつことも考えます。資源の保全には、利用時のルールを決めるとよいでしょう。

地球に優しい生き方を

この旅で見たもの、感じたことを周りの人たちに伝えたい、子どもたちにも伝えたい。そして、人の手では創り得ない自然の造形美、動物たちの暮らし、ひとびとの暮らしが残してきた知恵、貴重な資源をいつまでも残したい。このような意識は、ちょっとした日常行動に変化をもたらします。エネルギーの節約やゴミの分別など、日々の暮らしの中での小さな環境保全行動に気を配るようになりました。今の生活を大きく変えなくても、地球環境に優しい生き方はできるのです。



「そしてみんなが変わる」

エコツーリズムの歴史

エコツーリズムは、途上国において、観光客に森林を見せて経済振興を図ることによって、森林伐採などの自然開発から自然を保護しようとする産業転換を促す考え方として注目されました。その後先進国では、持続的な観光振興を目指す概念として論じられるようになりました。

わが国では、1990年頃からエコツアーを実施する民間事業者が、屋久島などの自然豊かな観光地で見られるようになりました。環境庁(当時)は、平成3年(1991年)に「沖縄におけるエコツーリズム等の観光利用推進方策検討調査」を実施して、エコツーリズムに関する調査を開始しました。1990年代後半には日本エコツーリズム推進協議会(現日本エコツーリズム協会)などの民間推進団体の設立が相次ぎ、エコツーリズムの普及に向けた動きが加速しました。

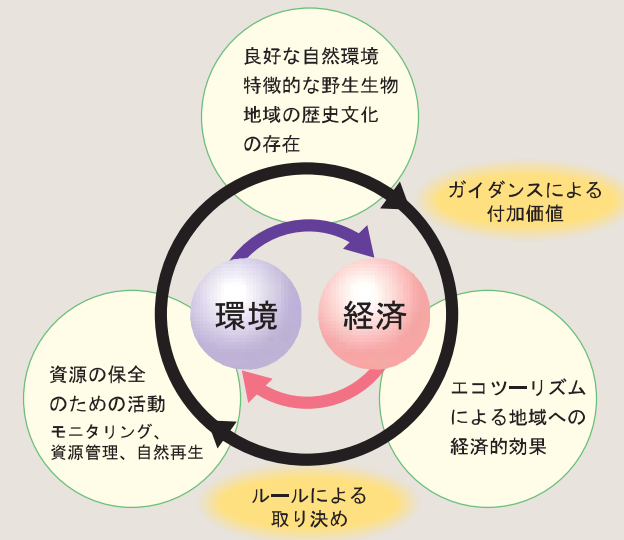
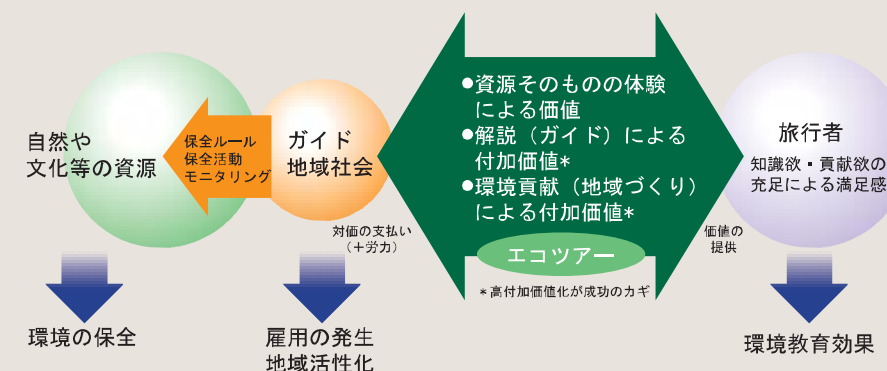
このような背景を受けて、平成15年から平成16年にかけてエコツーリズム推進会議(議長:小池環境大臣)が設置され、国をあげたエコツーリズムの推進がスタートしました。現在は、同会議で策定された5つの方策を中心に、エコツーリズムの普及と定着に向けた具体的な取り組みがすすめられています。

エコツーリズムとは

エコツーリズム推進会議では、エコツーリズムやエコツアーを次のように考えました。
エコツーリズムとは、「自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のあり方」です。エコツアーは、エコツーリズムの考え方を実践するためのツアーです。
エコツーリズムは、理念は素晴らしいのですが、その実現は容易ではありません。理想の状態に近づく道筋を見つめて、エコツーリズム実現のための着実な努力を続けることが大切です。

エコツーリズム成立のための2つのポイント

エコツーリズムを成立させるためのポイントは、地域の自然や文化に対する知識や経験の案内(=ガイド)と、地域の自然や文化を保全・維持するための取り決め(=ルール)の2点です。ガイドとは、一般的にガイドによる有料の案内が当てはまります。ガイドの本質は、地域資源に情動的な付加価値を加えることです。そして、それを効果的にツアーの参加者に伝えることです。エコツーリズムを支える経済的基盤を築くためにも、ガイドを磨くことが重要です。
エコツーリズム実現には、資源の保全が大切です。資源保全のためには、利用の方法を具体的に定めたルールを策定し、ガイドなどの関係者間でそのルールを守ることが必要です。



エコツーリズムの3つの類型

自然環境に加えて、地域の歴史や生活文化もツアーの対象であり、観光資源です。エコツアーは自然環境の豊かな地域だけに限らず、里地里山や都市の中の自然環境などでも実施することが可能です。エコツーリズムの成立には、資源性などの制約はありません。
環境省は、全国に13のエコツーリズムモデル地区を指定し、取り組みを支援してきました。モデル地区は「豊かな自然の中での取り組み」、「多くの来訪者が訪れる観光地での取り組み」、「里地里山の身近な自然、地域の産業や生活文化を活用した取り組み」の3つの類型に分類し、それぞれの特徴を活かしたエコツーリズムの実現を目指してまいりました。

類型1:豊かな自然の中での取り組み (典型的エコツーリズムの適正化)

モデル地区:知床・白神・小笠原・屋久島
原生的な自然を有する地域において、自然に直接ふれあうガイドツアーが自然に影響を与えないよう、適切なルールのもとで推進されるようなモデルを形成。

類型2:多くの来訪者が訪れる観光地での取り組み (マストツーリズムのエコ化)

モデル地区:裏磐梯・富士山北麓・六甲・佐世保
すでに多くの観光客が訪れている観光地域や、地域固有の素材を活用した誘客による地域振興を目指す地域などにおいて、一般的な観光旅行や林間学校などの体験内容を、自然や生態の成り立ちや地域文化への理解を促し、深い感動を与えるものへと改善されるようなモデルを形成。

類型3:里地里山の身近な自然、地域の産業や生活文化を活用した取り組み (エコツーリズムで地域づくり)

モデル地区:田尻・飯能名栗・飯田・湖西・南紀熊野
里地里山における自然体験、里山や植林の管理、清掃活動など、環境保全活動自体を魅力あるプログラムに結びつけた新しい観光のジャンルを確立し、ツアーへの幅広い参加を促すとともに、地域経済の活性化と資源の保全の両立が図られたモデルを形成。



エコツアーに参加したい！／エコツアーに参加してほしい！
エコツアー総覧 <http://ecotourism.jp>

「エコツアー総覧」は、エコツアーに参加したい旅行者と、エコツアーを紹介したい事業者を結びつけるホームページです。ホームページでは、全国のエコツアーや宿泊施設・交通機関のエコツーリズム実践に向けた取り組みを紹介しています。

692の事業者が登録し、平成21年は320件(累計2,393件)のエコツアーが紹介されています。(平成22年3月)



埼玉県飯能市

目標像を明らかにしたい！
エコツーリズム大賞

エコツーリズムを実践する地域や事業者の優れた取り組み例を「エコツーリズム大賞」として表彰しています。受賞者の取り組みは、エコツーリズムの具体的な目標像を考える上で大いに参考となります。



黒潮実感センター

第1回エコツーリズム大賞(平成17年度)

大賞

ピッキオ(長野県軽井沢地域、福島県磐梯地域)
 長野県北佐久郡軽井沢町星野軽井沢野鳥の森ピッキオビジターセンター
<http://picchio.co.jp/sp/>

第2回エコツーリズム大賞(平成18年度)

大賞

ホールアース自然学校(富士山全域、新潟県柏崎、沖縄やんばる地域及び那覇周辺)
 静岡県富士郡芝川町下柚野165
<http://wens.gr.jp/>

第3回エコツーリズム大賞(平成19年度)

大賞

認定特定非営利活動法人霧多布湿原トラスト(北海道厚岸郡浜中町)
 北海道厚岸郡浜中町仲の浜122
<http://www.kiritappu.or.jp/>

第4回エコツーリズム大賞(平成20年度)

大賞

飯能市・飯能市エコツーリズム推進協議会(埼玉県飯能市)
 埼玉県飯能市大字双柳1-1
<http://hanno-eco.com/>

第5回エコツーリズム大賞(平成21年度)

大賞

海鳥遊民くらぶ(有限会社オズ)(三重県鳥羽市)
 三重県鳥羽市鳥羽1丁目4番53号
<http://oz-group.jp/>

第6回エコツーリズム大賞(平成22年度)

大賞

特定非営利活動法人黒潮実感センター(高知県幡多郡大月町)
 高知県幡多郡大月町柏島625
<http://www.orquesta.org/kuroshio/>

地域の取り組みをみてほしい！
エコツーリズム推進アドバイザー

「エコツーリズム推進アドバイザー」の派遣を通してエコツーリズム推進に取り組む地域の課題解決を実践的に支援します。セミナーやシンポジウムでの講演、地元の関係者が集まる会議やフィールドワークを通じた助言などの方法で、現地でアドバイスをを行います。

平成22年度実施予定地域(16地域)

北海道天塩郡豊富町、岩手県二戸市、千葉県銚子市、栃木県日光市、東京都西多摩郡檜原村、岐阜県土岐市、愛知県田原市、兵庫県丹波市、兵庫県養父市、京都府南丹市美山町、京都府南丹地域、愛媛県西条市、高知県土佐清水市、佐賀県鹿島市、沖縄県島尻郡南大東村、沖縄県名護市

実践を学びたい！
全国エコツーリズムセミナー・フォーラム

エコツアーの実施に必要な知識やノウハウ、エコツーリズム推進時に直面する課題の解決法など、エコツーリズム推進に関わる実践的なポイントを実例を中心に学ぶ全国エコツーリズムセミナーやフォーラムを開催しています。

エコツーリズムセミナー

- 第1回「エコツアーをはじめよう、ひろげよう」
(平成17年11月:山梨県富士吉田市)
- 第2回「エコツーリズムをはじめよう」
(平成18年2月:長崎県佐世保市)
- 第3回「エコツーリズムが考える資源の持続的な利用」
(平成19年1月:東京都渋谷区)
- 第4回「エコツーリズムのさらなる推進」
(平成20年3月:東京都渋谷区)
- 第5回「"たび"と創る持続的な地域社会を目指して」
(平成20年11月:東京都千代田区)
- 第6回「自然観光資源の保全と活用を通じた地域振興」
(平成22年1月:埼玉県飯能市)
- 第7回「エコツーリズムで地域が変わる!地域の宝を探し、磨き、守り、魅せる!」
(平成22年7月:三重県鳥羽市)

エコツーリズムフォーラム

- 第1回「世界自然遺産を楽しま守る -地域で取り組む新しい観光(エコツーリズム)-」
(平成18年9月:東京ビッグサイト)
- 第2回「自然と人の共生のために」
(平成19年9月:東京ビッグサイト)
- 第3回「地域のエコツアー商品をいかに流通させるか」～実践から流通へ エコツーリズム推進のための新たな一歩～
(平成20年9月:東京ビッグサイト)
- 第4回「地域の取組から商品の流通へ～地域のエコツアー商品をいかにしてつくり流通させるか～」
(平成21年9月:東京ビッグサイト)
- 第5回「地域振興とエコツーリズム」
(平成22年9月:東京ビッグサイト)



三重県鳥羽市



